

別記第3号様式

京都府教育委員会教育長 様

令和8年2月27日

ラ ボ 府立学校施設事務担当者研究会  
代表者所属名 京都府立清明高等学校  
代表者職・氏名 学校施設管理職員・長井 一幸

京都府立学校授業力等向上ラボ支援事業報告書

次のとおり報告します。

1 ラボ名

府立学校施設事務担当者研究会

2 研究テーマ

学校施設担当者事務の最適化を目指して  
～施設担当者の情報共有による業務の合理化～

3 研究の目的

・府立学校施設担当事務従事者の過去の事例等から、問題点、課題、解決策を研究し、学校施設に係る業務の最適化・合理化を図る

4 研究の成果と課題

・事務職員と学校施設管理職員が、学校内での施設等を通して知識や考え方を共有した。また、特徴的な府立学校の施設を見学し、交流の場としても非常に充実した機会であった。  
・誰でも学校施設でのトラブルに対応できる『初期対応マニュアル』を作成。  
・本研究会での活動をきっかけに、より深い協力関係と、より良い学校施設管理事務の実現へ進めたい。

5 研究成果の波及方法

・『初期対応マニュアル』を作成し、各府立学校や各所属団体（事務長会、学校施設管理職員・技術職員研究会等）で、情報共有を行いたい。

## 6 研究（活動）実績※

年月	研究（活動）内容（具体的に記載）	活動場所
令和7年8月8日	「わからないことを知る」と題し、施設担当者に求められることを整理し、不在時に共有すべき知識を検討	京都府立清明高等学校
令和7年11月21日	「問題の可視化」としてグループに分かれ、実際に起きた問題や起こり得る問題を挙げ、専門知識がなくてもできる初期対応や解決方法を検討	京都府立舞鶴支援学校
令和8年1月9日	前回挙げられたトラブルに対して「トラブルの対応と共有」と題し、初期対応方法をマニュアル化し、誰でも簡易なトラブルに対応できる仕組みを検討	京都府立鴨沂高等学校

## 7 予算執行状況

(1) 旅費・研究会等参加費は、旅費等執行状況報告書に記載のとおり

## 8 他校へ勧めたい実践又は他校へ呼びかけたい共同研究（できるだけ具体的に）

テーマ	施設担当者の情報共有による業務の合理化
育てたい資質能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校で起こったトラブルの共有（日常及び修繕施工時等）</li> <li>・トラブルが発生した時に対応できるシステムの構築</li> <li>・事前に起こりうるトラブルについての想像力を発揮できる能力と情報を発信する力</li> </ul>
実践又は研究の具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回は、府立清明高等学校を会場に、「わからないことを知る」と題し、施設担当者に求められることを整理し、不在時に共有すべき知識を検討した。</li> <li>・第2回は、「問題の可視化」として、府立舞鶴支援学校を会場に、グループごとに実際に起きた施設関連の問題や起こり得るトラブルを挙げ、専門知識がなくてもできる初期対応や解決方法を考察した。</li> <li>・第3回は、前回であげられたトラブルに対して「トラブルの対応と共有」と題し、府立鴨沂高等学校を会場に、前回のグループごとに初期対応方法をマニュアル化し、簡易なトラブルに対応できる仕組みを作成・発表し、交流した。</li> <li>・計3回の研修を行い、交流内で出た意見をまとめ『初期対応マニュアル』を作成した。</li> </ul>